

# 解剖学 (1)

教授	大谷 修
助教授	森沢 佐歳
助手	李 瑞
助手	斎藤 麻
技官	堀井 竹
技官	押川 夫

## ◆ 著 書

- 1) Ohtani, O., Saitoh, M., Wang, Q.-X. and Shao, X.-J. : Recent advances in methods for demonstrating the three-dimensional organization of blood and lymphatic microvessels. In Recent Advances in Microscopy of Cells Tissues and Organs, by Motta, P. M. (Ed.) 317-322, Antonio Delfino Editore, Rome, 1997.
- 2) 大谷 修：循環系。「からだの構造と機能」A. シェフラー, S. シュミット著, 三木明德, 井上貴央監訳, 224-236, 西村書店, 新潟, 1998.
- 3) 大谷 修：1997年度(平成9年度)日本電子顕微鏡学会技術認定試験問題解説, (社)日本電子顕微鏡学会第9回電顕サマースクール実行委員会編, 13-14, 学際企画, 東京, 1998.

## ◆ 原 著

- 1) Ohtani, Y., and Ohtani, O. : Obliteration of the lymphatic trunks draining the diaphragmatic lymph causes peritoneal fluid to enter the pleural cavity. Arch. Histol. Cytol. 60(5) : 503-510, 1997.
- 2) Shao, X.-J., Ohtani, O., Saitoh, M. and Ohtani, Y. : Development of diaphragmatic lymphatics : process of their direct connection to the peritoneal cavity. Arch. Histol. Cytol. 61(2) : 137-149, 1998.
- 3) 大谷 修：医療技術者養成のための解剖学教育—医学科解剖学教室の立場から—解剖学雑誌73(3) : 293-297, 1998.

## ◆ 学会報告

- 1) 西森康友, 大場 愛, 見城由紀子, 松本克夫, 河合充夫, 大谷 修：光老化と真皮コラーゲン線維束・～コラーゲン線維束構造とシワの関連～. 第30回日本結合組織学会学術大会.
- 2) 千葉正司, 大谷 修：生前より内臓逆位症と診断された男性1体の解剖. 第103回日本解剖学全国学術総会, 1998年3月31日-4月2日, 大阪.

- 3) Saitoh, M., Huh, N.-H. and Ohtani, O. : Mechanism of lymphangiogenesis : Immunohistochemical study of vascular endothelial growth factor-C localization in the rat. 第103回日本解剖学全国学術総会, 1998年3月31日-4月2日, 大阪.
- 4) 大谷 修, 大谷裕子, 李 瑞錫：横隔膜リンパ管小孔は腹水量に比例して大きくなる：チルド走査電子顕微鏡による研究. 日本解剖学会第58中部地方会, 1998年10月3, 4日, 金沢.
- 5) 平島 豊, 栗本昌紀, 野上予人, 遠藤俊郎, 高久 晃, 斎藤麻由, 大谷 修：グルタミン酸神経細胞障害におけるアポトーシスの関与. 第57回日本脳神経外科学会総会, 1998年10月14-16日, 札幌.
- 6) 平島 豊, 栗本昌紀, 野上予人, 遠藤俊郎, 高久 晃, 斎藤麻由, 大谷 修：グルタミン酸負荷による神経細胞障害—アポトーシス関与—第10回日本脳循環代謝学会総会, 1998年11月17, 18日, 大阪.

## ◆ その他

- 1) 王 全新, 斎藤麻由, 大谷 修：ラット肋骨胸膜における胸膜腔とリンパ管を直接連絡する小孔の発達. 三次元微小解剖3 : 21-24, 1997.
- 2) 斎藤麻由, 王 全新, 大谷 修：ラット肋骨胸膜における胸膜腔とリンパ管を直接連絡する小孔の微細構造. 三次元微小解剖3 : 25-28, 1997.
- 3) 大谷 修：てがみ「第24回医学教育者のためのワークショップに参加して」. 医学教育29 : 72, 1998.
- 4) 大谷 修：参加者の感想と意見. 第17回国内医科大学視察と討論の会(平成1997年9月4, 5日, 岐阜大学医学部)—報告書—. 医学教育振興財団編, 58, 1998.
- 5) 大谷 修：21世紀の医療人となるために—平成9年度解剖学実習感想文集の発刊にあたって—「平成9年度解剖学実習感想文集」富山医科薬科大学医学部医学科平成9年度実習生編, 2-3, 1998.